

豊かな能美暮らしを未来へつなごう！



エス！エス！エスティージェーズ

# SDGs

問 / 市長戦略課 SDGs 推進室 (☎ 58-2220 國 58-2291)

## 教えてゆず美ん「地方創生SDGs」って？

## スタート！

能美市も、人口が少し減り始めたぽぽ。。

ええ…

今後、人口減少・少子高齢化がさらに進んでいって、何もしないと、**暮らしにくい地域**になっていくかもしれないんだよ

「地方」は都道府県・市区町村、「創生」は「初めて生み出すこと」という意味！

地方創生SDGsってなにぽぽ？

みんなの力で、「環境にやさしい社会」「地域共生社会」「活力ある経済活動」の三つを調和させて、暮らしやすさを実感できる能美づくりに取り組み、移住定住につなげるよ。

3つの要素の調和が大切

経済 社会 環境

能美市は、「暮らしやすさを日本一、実感できるまち」をめざすのだ！

そこで、SDGsの理念や視点で新しい取り組みを生み出し、持続可能なまちづくりに取り組んでいくのが「地方創生SDGs」だよ！

おお〜っ！

SDGsのこと、知りたくなったぽぽ！

中学校ではSDGsの授業が始まっているよ。

大丈夫！SDGsに興味を持って学んでいくと、分かるようになってくるよ。

まずは、自分の日常や地域のいろんな取り組みを、SDGs17のゴールで確認してみよう。

けど、SDGsの理念や視点って、難しそうぽぽ。。

絶対行くぽぽ！

SDGsのことを知らない人にもおすすめの展示なのだ！

10月11日(月)から11月10日(水)まで、市役所本庁舎でSDGsの展示をするよ！

おわり

SDGsって？ SDGs（サステナブルな開発目標）の17のゴールは、日本語で持続可能な開発目標と訳され、2030年までに持続可能でより良い社会を目指す国際目標のことです。経済・環境・社会の課題を解決するための17のゴール；169のターゲットから構成され、誰一人取り残さない（不让）を誓っています。

連載



問/能美ふるさとミュージアム (☎58-5250 ☎58-5251)

コラム

能美ふるさとミュージアム館内紹介 ～特別展示室～

今回は特別展示室をご紹介します。特別展示室は、その名の通り特別展などを開催するための展示室。室内は黒を基調とした格式高い雰囲気です。

特別展では他館からの借用品や金属製品、木製品、絵画など、温湿度の変化に弱い資料を展示する場合があります。室内は常にセンサーで温湿度を監視。また、展示室奥の展示ブースは気密性の高いエアタイト構造となっております。エアタイトケースは外気の影響を受けにくいので、温湿度の変化に弱い資料も展示することができ、昨年の開館記念特別展では本館所蔵の県指定文化財「絹本着色白山曼荼羅図」を展示しました。

また、展示室奥はパーテーションが設置でき、壁面を増やすことで絵画などの壁かけ展示をするスペースが増やせます。今年の春には、館藏品展「能美ゆかりの作家たち」を開催し、大型の油絵や、複数の水彩画展示も行いました。

温湿度変化に弱い貴重な資料や、美術品の展示に対応した特別展示室。この秋、能美市にとって特別な資料を迎えることになります。それは、和田山1・2号墳の出土品。これらは現在、京都国立博物館に收藏されている大変貴重な資料です。今回、のみふる開館1周年と和田山1号墳発掘70周年を記念して、里帰り展示を行います。北陸唯一の出土である六鈴鏡や鈴付銅釧など、普段見ることができない資料を間近に見られるチャンス!ぜひ、お見逃しなく!



開館記念特別展の様子



館藏品展「能美ゆかりの作家たち」の様子

お知らせ

展示 能美・小松2市連携企画展 「能美・小松 古墳発掘の始まり」

▶会期 10月16日(土)～12月12日(日)

能美ふるさとミュージアム開館1周年と和田山1・2号墳発掘70周年を記念して、京都国立博物館から六鈴鏡や鈴付銅釧などを迎えるほか、小松市所蔵の念仏林古墳や矢田借屋古墳群などの資料で、昭和20～30年代の発掘調査黎明期の歩みを辿ります。

無料

小松市出土の資料も注目!

和田山1号墳出土 六鈴鏡→



六鈴鏡をぜひ見てね!

京都国立博物館 六鈴鏡

小松市 念仏林古墳群

有料広告

有料広告

有料広告

防災サプリー

不足しがちな「防災」を補います

問/危機管理課 (☎58-2201 ☎58-2290)

地震から命を守る

最近、奥能登を震源とする地震が多く発生しています。能美市で揺れを感じたこともありました。能美市は、震度6弱～6強の地震が起こる地域と想定されています。今回は、地震のときのとるべき行動について考えてみましょう。

地震だ!皆さんのとるべき行動

緊急地震速報

テレビ、ラジオ、スマートフォンなどで、強い揺れが来ることが知らされ、身を守る行動のために有効な時間(数秒から十数秒)を与えてくれます。



まずは自分の身(命)を守る

- ・「しゃがむ」「隠れる」「じっとする」、特に頭と首を守る。
- ・まずは自分がケガをしないこと。

家族や隣近所の安否確認と救助に力を注ぐ

- ・家を出る前にブレーカーを切り、通電火災を予防する。
- ・家族と隣近所の安否を確認をする。
- ・生き埋め者や負傷者を早急に見つけ救助する。

家が危険な場合は避難する

- ・安否確認と救助が終わったら、家の状態を確認する。
- ・危険な状態であれば、安全な建物へ身を寄せる(避難)。
- ・余震に注意し、安全な道順で、要配慮者を支援し移動する。



自主防災組織の安否確認のルールづくり【事例紹介】

隣組「となりぐみ」

全国的にも多く取り組まれている方法の1つで、ご近所ごとの小さなグループをあらかじめ決めて、お互いの役割を認識します。

災害時には

誰かの指示を待つことなく、住民が自発的に助け合いの対象者(隣組)の安否確認や救出救助、避難の支援を行います。

(安否確認結果の報告イメージ)

自分→家族→隣組→班→町内会



効果① 支援や救助が必要な方に対し、隣組や班の力を集中することができます。

効果② 町内会による安否確認作業が軽減されます。

自主防災組織活動をサポートします

災害時の集合場所や安否確認のルールなど、地域の行動マニュアルを定め、訓練を行うことで、災害時のとるべき行動を日頃から理解していただくことが重要です。

現在、市では、地域の特性に応じたマニュアル作りや訓練の企画について、お気軽にご相談いただけるよう、危機管理課を「相談窓口」とし、町会・町内会の自主防災組織活動をサポートしております。

平常時には

防災(安否確認訓練・避難支援訓練など)のほか  
地域福祉・まちづくりのため

- ・普段から、手助け、声掛け、見守りなど
- ・協力しあう意識付け(溝そうじ、除雪など)
- ・顔の見えるご近所付き合いのきっかけ

隣組は、「防災」「福祉」「まちづくり」などあらゆる場面で生きてきます!

能美市防災ガイドブック

能美市にお住まいの方に配布している防災ガイドブックには、防災に役立つ情報が満載です。

※防災ガイドブックは市ホームページでもご覧いただけます。(右記QRコードからアクセスできます)





# いしかわ動物園にズームイン!

Zoo

文：いしかわ動物園

## ■レッサーパンダの赤ちゃん、すくすくと成長中

いしかわ動物園では6月21日、6年ぶりにレッサーパンダの赤ちゃんが誕生しました。とてもやんちゃな男の子です。母親は当園で生まれた、当時お転婆娘の名をほしいまにしたサン。どうやら、母親の血をしっかりと受け継いだようです。

野生のレッサーパンダは樹洞(樹木の幹や太い枝にできた洞窟状の空間)などで子育てを行います。当園では木製の巣箱を利用しています。ただ、定期的に行う身体測定時以外はその姿を直接見ることが難しく、一般の方が成長の様子をうかがうことは困難です。

そこで今回は、3枚の写真を用意しました。左からそれぞれ、6月29日、7月18日、8月10日の身体測定時に写したものです。まだ目が開いていない時から、徐々にレッサーパンダらしい姿に変わっていく様子をご覧いただけるのではないのでしょうか。もうしばらくして一般公開し皆さまにご覧いただける頃には、癒し度満点で天真爛漫な姿になっていることでしょう。



# みんなの図書館



※開館時間、休館日については、市ホームページ、各図書館だよりをご覧ください。

### おすすめの一般書



### 存在しない時間の中で

山田宗樹 [著]  
角川春樹事務所

世界各国の研究者たちが集まる天文数物研究機構に、ある日謎の青年が現れ、ホワイトボードに23枚に及ぶ数式を書き残して姿を消した。その数式は、この宇宙、そして世界的设计図を描いた「何ものか」が存在する可能性を示し…。

### おすすめの児童書



### くしゃみおじさん

オルガ・カブラル [作]  
岩波書店

ヒヤッパクション! ハッパクション! ハッパクション! おじさんの大きなくしゃみが飛び出すと、あれれ? うさぎやねこ、いぬ、男の子など、みんなヘンテコなっこうになって…。動物や子どもたちのゆかいなお話。

### おすすめの絵本



### エリンとまっくら岩のひみつ

ジョー・ドット=スタントン [作]  
評論社

世にも危険な伝説の「まっくら岩」を探検したいエリン。ないしょでママの船に乗り込みますが、まっくら岩の近くで海に落ちてしまい…。信じるもののために立ち上がる勇氣、自然とのやさしい関係を描く。



情報発信元 能美市九谷焼美術館 | 五彩館 |

【入館料】一般 430円・75歳以上 320円・高校生以下無料  
※浅蔵五十吉記念館もあわせて入館いただけます。

【問い合わせ】☎ 58-6100 ☎ 58-6086

ご来館の際は、基本的感染対策(マスク着用・検温・手洗い等)にご協力をお願いします。

## 今月のイッピン! 「宮本屋窯 赤絵福寿字入大深鉢」

天保2年(1831)に借銀過重等により焼止めを余儀なくした再興九谷「吉田屋窯」を譲り受けたのは、かつて番頭だった宮本屋宇右衛門でした。宮本屋は大聖寺城下で同じ町に住む染めもの画工、飯田屋八郎右衛門を赤絵付け画工に抜擢し翌年、宮本屋窯として再出発しました。主工の飯田屋八郎右衛門は春日山窯で試みられていた赤絵細描の手法を取入れ、中国明代の唐墨文様集の雅趣に富んだ画題を活用して赤絵九谷を大成しました。これによりこの手の赤絵を飯田屋もしくは八郎手と呼んでいます。嘉永5年(1852)八郎右衛門が亡くなり、安政6年(1859)に廃窯となりました。本作は中国風の文様のほか、染めものの文様も見られ、八郎右衛門の手になるものと思われる。赤絵九谷の系譜を知る上でのイッピン! です。(文・五彩館 館長 中矢)



赤絵福寿字入大深鉢  
サイズ 口径26.0 / 底12.0 / 高11.5cm  
作者 宮本屋窯  
年代 江戸後期  
所蔵先 能美市九谷焼美術館 | 五彩館 |

INFO

- 「刻む展」(「五彩館」)～11月7日(日)  
伊藤慶二 井上雅子・中田雅巳・齋藤まゆ
  - 「九谷焼伝統工芸士会作品展」(「五彩館」)～11月28日(日)
  - 「能美市美術作家協会 絵画部展」～10月24日(日)  
※会場は「五彩館」ロビーギャラリー(入館無料)※最終日は16時まで
  - KUTANism「名工選『NEXT 九谷 vol. III』展」巡回展  
(「浅蔵五十吉記念館」)～11月7日(日)
- アーティストトーク(列品解説)  
10月23日(土)10時～ 定員15名・要予約  
作家4名が作品作りに対する想いを展示会場で語ります。

# 今月の手話

問/福祉課 ☎ 58-2230 ☎ 58-2294

## 手話表現：移住アンバサダー 清水和貴子さん(国際交流協会職員)

移住アンバサダーとは、市の魅力発信、移住希望者への情報提供やサポートなどを行っていただく人です。

### 英語



- ①-1、①-2 人差し指と中指の背をあごに沿って動かす(「イギリス」の手話表現)
- ②人差し指で波線を書くようにしながら横へ移動させる(筆記体を書くイメージ)

### わかる・知っている



- ①-1、①-2 てのひらで胸をなで下ろす

### わからない・知らない



- ①-1、①-2 指先で肩付近をはらい上げる

### 動画配信中

QRコード▶



「私は、英語がわかります。」  
「中国語は、わかりません。」  
の手話表現をご覧ください。



連載

# わたしとこの町

## File52 仏大寺町



毎日管理する人がいることで、マナー違反をする人も減り、霊水堂はキレイに保たれています。写真は、畑中さん（左）と、同じく管理チームで活動する大杉さん（右）。

20年前に町会長を務めてから、町の様々な仕事に携わってきました。今は、遣水観音霊水堂の保存チーム長をしています。遣水観音霊水堂は、平成12年に整備されたから、町民が交代ですと管理をしてきました。今は私を含む7人のボランティアが、1日1回、お花やろうそくを交換したり、清掃したりしながら、様子を見に行っています。美味しい湧き水が出ることは、町民として誇りに思っています。

町会長を務めていたときに、住んでいるだけでは気づけなかった、町のいいところや、心配なところがよく分かりました。この町は、何をすることも町民総出で取り組みます。それがいいところでもあり、維持していかなければいけないところでもあります。そして、維持には工夫が必要です。町会長のときは、町民同士の交流を絶やさないことはもちろん、閉塞的にならないよう、外部への発信も心掛けてきました。平成29年度まで11年続いたほっこりまつりは、町民の「来てくれた人が喜んでくれるのが嬉しい」という気持ちで続いたように感じます。



今年5月、遣水観音山の魅力に着目したサトヤマWORKSが、町会と協力し、100マイル（160km）レース「ヤリカン」を初開催しました。12時間耐久で走りぬくトレイルランニングの選手が、気持ちの良い里山を走り切りました。

ボランティアというのは、無理をせず、楽しい気持ちを持つことが大切だと思います。提供する側の「楽しい」が伝わってこそ、受け取る側が「楽しい」と感じるのです。

今はマンパワーやコロナの影響もあって、以前のほっこりまつりのような大規模な祭りの開催は難しい状況ですが、私たちの「おもてなし」の気持ちは今も変わりません。例えば小さい規模で、町外の人だけではなく、ご近所さんが集まるようなカフェや手打ちそばなんかを振る舞う、小さな「ほっこり村」なんて、できたら楽しいだろうなと思っています。



遣水観音霊水堂保存会 管理チーム長

はたなか しげのぶ  
畑中 茂伸さん

## File51 浜開発町



市道沿いに咲くガザニア。父は約11年、私が引き継いでからは4年以上、花を守り続けています。

私は、市道沿いの植え込みの「花守り」をしています。浜開発交差点の南側約100メートルと北側約40メートルの植え込みにガザニアやシバザクラを植え、お世話をしています。市道の清掃・緑化ボランティアを行う市の里親制度に基づき、私が営む建築会社が「里親」になったのを機に、父が植え込みのお世話を始めました。現在は、私が引き継ぎ、定期的に草むしりやゴミ拾いなどの維持管理をしています。道路沿いを明るく彩っている花の様子を見ると、道行く人の心も明るくしているような気がして、これからも「花守り」を続けて

いきたいという気持ちになりました。見たことがない方は、ぜひ見に来てください。また私は、浜開発八幡神社の総代を務めていて、神社入口の拡幅工事や外壁工事、瓦の葺き替えなど神社の維持管理をしています。印象に残っているのは、木製の旗棒4本のうち2本を旗を上げるロップ付きのコンクリート製に更新したことです。更新した理由は、高齢化により、町民による木製の旗棒を起す作業が困難になっていたからです。限られたお金の中で、町のためになる旗棒にしよう、事前に近隣の旗棒の視察、話を聴くなどして総代の方々と協議し、また町内会に理解をしていただき



新しく竣工した旗棒2本。雨風でも傷みにくいコンクリート製にしました。

ました。旗棒が完成し、町民から「楽になったね」と言われたときは、とても嬉しく感じました。私は、身体の痺れや激しい痛みで思うように活動ができないことがあります。それは、強直性脊椎炎という難病を患っているためです。それでも可能な範囲で生まれ育った浜開発町のために何らかの助けになればとの思いで、さまざまなことに取り組んでいます。町のみんが少しでも笑顔になるよう、これからも頑張っていきたいと思っています。また、同じ病気で悩んでいる方がいたらしゃれば、力になりたいので、気軽に声をかけてほしいです。



市道沿いの植え込みや神社の維持管理に努める

よした たかお  
吉田 忠雄さん